関東部会　2026 年度部会研究会

----------4 月部会研究会----------

【日時】2026 年 4 月 11 日（土）13：30～17：30（その後、懇親会）

【会場】東洋大学　白山キャンパス 6 号館 2 階 6203 教室

【報告者および報告論題】

◆◇◆ フリーセッション 13：30～14：50 ◆◇◆

※敬称略

【コーディネーター】 山本晶 （慶應義塾大学）・ 井上淳子 （成蹊大学）

【研究発表】（報告 20 分、コメント 10 分、質疑応答 10 分）

報告（1） 「チャットボットにおける身体性知覚が消費者評価に及ぼす影響」

報告者： 王英傑（早稲田大学大学院）

コメンテータ： 西井真祐子（青山学院大学）

報告（2） 「B2B ブランド・コミュニティのオフラインイベントにおけるカスタマー・エンゲージメントの形成について」

報告者： 長橋明子（慶應義塾大学大学院）

コメンテータ： 澁谷覚（早稲田大学）

◆◇◆ 消費者行動 15：00～16：20 ◆◇◆

【コーディネーター】 清水聰 （慶應義塾大学）・ 大野幸子 （和光大学）

【研究発表】（報告 20 分、コメント 10 分、質疑応答 10 分）

報告（1）「インドネシアにおける感情訴求メッセージと予防行動―バリ大学生を中心とした探索的研究―」

報告者： 大野幸子 （和光大学）・ バンバンルディアント（和光大学）

コメンテータ： 朴正洙（駒澤大学）

報告（2） 「顧客エンゲージメント形成プロセスにおける感情の働きの解明」

報告者： 戸塚千裕 （慶應義塾大学大学院）

コメンテータ： 久保田進彦（青山学院大学）

◆◇◆ マーケティング・サイエンス 16：30～17：30 ◆◇◆

【コーディネーター】 石田実 （東洋大学）・ 中野暁 （中央大学）

【研究発表】（報告 20 分、質疑応答 10 分）

報告（1）「ライブ配信におけるネガティブ弾幕の測定に関する検討――新語辞書の構築とプリテストを中心に――」

報告者： 張宇程 （東洋大学大学院）

報告（2）「埋め込み表現による絵本購買行動の定量的分析―表紙画像とタイトルから評価した整合性と曖昧さを用いて―」

報告者： 茂木雅祥 （早稲田大学）・ 石原昌和 （New York University）・ 熊倉広志 （中央大学）

----------7 月部会研究会----------

【日時】2026 年 7 月 11 日（土）：13 時 30 分から 17 時 50 分

【会場】早稲田大学　早稲田キャンパス　3 号館 301 教室

【報告者および報告論題】

◆◇◆ マーケティング戦略 13：30～14：50 ◆◇◆

※敬称略

【コーディネーター】 原頼利（明治大学）・ 宇野舞 （一橋大学）

【研究発表】（報告 20 分、コメント 10 分、質疑応答 10 分）

報告（1）報告論題『なぜ顧客は接客態度が悪いサービスを利用するのか：ベトナムの「罵倒麺」を事例に』

報告者：グェン フォン バオ チャウ（早稲田大学）

コメンテーター：鈴木　智子（一橋大学 ICS）

報告（2）報告論題『市場横断的な報復出店行動：食品スーパーを対象とした実証分析』

報告者：中村　世名（専修大学）・西川　みなみ（中央大学）・石井　隆太（立命館大学）

コメンテーター：横山　斉理（同志社大学）

◆◇◆ マーケティング・コミュニケーション 15：00～16：20 ◆◇◆

※敬称略

【コーディネーター】 須永　努（早稲田大学）・ 河股　久司（日本大学）

【研究発表】（報告 20 分、コメント 10 分、質疑応答 10 分）

報告（1）報告論題『最大化マインドセットが寄付行動に及ぼす影響』

報告者：會澤　裕貴（東京都立大学）・水越　康介（東京都立大学）

コメンテーター：須永　努（早稲田大学）

報告（2）報告論題『パッケージの透明性が味覚知覚に与える影響』

報告者：河股　久司（日本大学）・權　純鎬（神奈川大学）

コメンテーター：外川　拓（早稲田大学）

◆◇◆ フリーセッション 16：30～17：50 ◆◇◆

※敬称略

【コーディネーター】 石井　裕明（早稲田大学）・ 權　純鎬（神奈川大学）

【研究発表】（報告 25 分、質疑応答 15 分）

報告（1）報告論題『Brand repurchasing in channel switching: Insights from omnichannel grocery retailing』

報告者：中野　暁（中央大学）

報告（2）報告論題『The three-dimensional effect in logo design: When depth cues improve brand purchase likelihood』
報告者： 外川　拓（早稲田大学）・恩藏　直人（早稲田大学）

----------10 月部会研究会----------
【日時】2026 年 10 月 3 日（土）：14 時 00 分～17 時 15 分
【会場】一橋大学 千代田キャンパス 6F Classroom 4

【報告者および報告論題】
◆◇◆ フリーセッション 14:00～15:30◆◇◆　※敬称略
【コーディネーター】 澁谷覚（早稲田大学）・西原彰宏（亜細亜大学）
【研究発表】（報告 30 分、質疑応答 15 分）

報告（1）「『世界観』のあるパッケージは何を変えるのか―味への選好、情緒的反応、購買意図の実験的検討―」
報告者：津村将章（神奈川大学）

報告（2）「ウェルビーイング概念の基礎－マーケティング実践が内包する価値の再認識」
報告者：酒井麻衣子（中央大学）

◆◇◆ チュートリアル・セッション 15:45～17:15 ◆◇◆

【コーディネーター】 鈴木智子（一橋大学）・ 松下光司 （学習院大学）

【セッションの趣旨】
AI の普及により、実験を用いた研究にも大きな変化が生じています。
今回のチュートリアル・セッションでは CEIBS（中欧国際工商学院）の Ke Michael MAI 先生をお招きして、
AI 時代の実験計画と実施について講義していただきます。

【報告者】Ke Michael MAI（China Europe International Business School: CEIBS）
https://www.ceibs.edu/ke_mai
【報告論題】Designing and Running Experiments in the Age of AI（使用言語：英語）
【概要】 Artificial intelligence is transforming not only what organizations do, but how we study them. This tutorial focuses on one of the most consequential shifts: how we design, run, and analyze experiments. I will demonstrate new and practical ways of incorporating AI into the experimental research process — from study design and stimulus generation to data collection. Throughout, we will

discuss both the opportunities and the pitfalls, including some issues of transparency and research ethics.

----------11 月部会研究会----------

【日時】2026 年 11 月 28 日（土）：13 時 00 分～17 時 30 分
【会場】青山学院大学青山ャンパス 10 号館 2 階 23 会議室

◆◇◆　テーマセッション（13 時 00 分～15 時 55 分）　◆◇◆
※敬称略
【テーマ 1】「理論・歴史」
【コーディネーター】戸田 裕美子（法政大学)、中見 真也（神奈川大学）
【研究報告】（報告 45 分、質疑 10 分）
・事務局からのご挨拶、ご連絡（13 時 00 分～13 時 05 分）

報告(1)「近代日本の百貨店における音楽隊と楽器部の展開ー管楽器の市井への広がりに関する一考察ー」（13 時 05 分～14 時 00 分）
報告者：原 大祐（明治大学大学院）

報告(2)「マーケティング論の誕生期におけるマーケティングの意味」（14 時 05 分～15 時 00 分）
報告者：藤田 隆行（青山学院大学大学院）

報告(3)「マーケティング史における組織文化の応用可能性一『組織文化とリーダーシップ』を参考にして一」（報告 40 分、質疑 10 分）（15 時 05 分～15 時 55 分）

報告者：宇田 理（青山学院大学）

◆◇◆　テーマセッション（16 時 10 分～17 時 30 分）　◆◇◆
【テーマ 2】「流通・商業」
【コーディネーター】東 伸一　（青山学院大学)、西川みな美（中央大学）
【研究報告】

報告(1)「解題：流通研究からとらえる都市一東京の重心移動と渋谷・青山の 150 年」（30 分）（16 時 10 分?16 時 40 分）
報告者：東 伸一（青山学院大学）

報告(2)「解説と討論」（45 分）（16 時 45 分～17 時 30 分）
コメント：三村 優美子（青山学院大学）